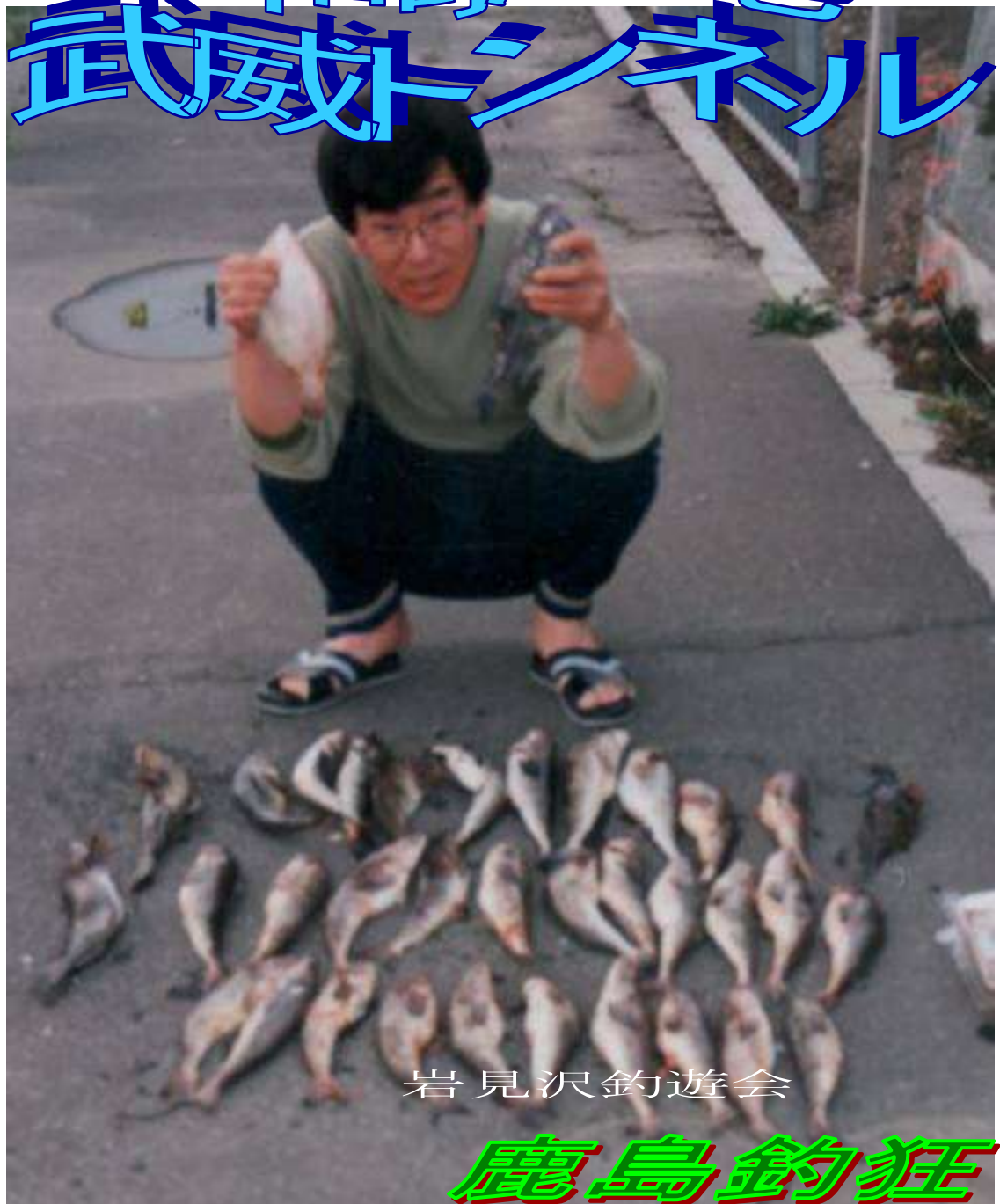


釣れ釣れなるままに

1995年思い出の釣行記 PART. 1

神崎漁港 武威ドンネル



岩見沢釣遊会

鹿島釣狂

☆入 釣 日	平成7年4月29・30日		
☆入釣場所	神崎漁港左平盤・来岸漁港右平盤（幌内府トンネル前）		
☆潮	満潮	14:56	20cm
	干潮	21:56	1cm
	満潮	5:10	25cm
	干潮	10:14	15cm
☆天 候	晴れ 南風 波穏やか		
☆釣 果	ホッケ	350 mm	31
	アブラコ	340 mm	2
	マゾイ	300 mm	1
	ハチガラ		1
	マガレイ	250 mm	1

釣遊会第1回大会は、日曜参観日のため出席できず。今年度は何回参加できるのやら。大会予定日は学校行事とは重なってはいないが・・・。

29・30日の連休を利用し、第3回大会の下見を兼ねて、積丹方面に向けて出発する。予定では、夕方に武威トンネル前、幌内府トンネル前で釣り、釣遊会大会と同じ時間帯になってから、神崎漁港手前湾洞でカジカ、漁港左平盤でアブラコを狙うつもりであった。しかし、少し時間帯が早かったこともあり、ゆっくりと海岸の下見をしながら神崎漁港左平盤に入るようになった。

武威トンネル前は左前方に高い盤があり、前方が開けているので、5、6名は乗れる盤である。それ以外は入釣困難。駐車場は2台分有り。幌内府トンネル前は、先端の離れ岩まで腰まで浸かって渡ることが出来る。更に奥は、高い岩盤が湾洞を形成しており、釣り場はかなり広い。余別漁港左ワリシリ岬は、鉄梯子が置いてあり前方の盤に進むことができる。ここにはホッケのウキ釣り師が20名ほどいた。

神崎漁港手前はカジカ狙いになるが、見た目がパツとしない。漁港奥の平盤にホッケ釣り師が10名ほどいるので、その仲間に入る（16:30）。初めのうちは調子が悪かったが、17:00を過ぎてから次々とヒットする。19:00頃までにホッケを20匹ほど釣る。ヤリイカを狙っている釣り人がおり、透き通った綺麗なヤリイカをあげた。

暗くなり、溝を挟んだ前方に出て投げ釣りを始める。よいアタリがあるが根掛かり。20:30頃ハチガラが釣れる。アタリはよかったが20cm弱である。21:00頃更に左に5名ほど釣り人が入るが、あまり釣れていない。マゾイが来た。引きの強さから大物と感じたが30cmほどのものであった。腹がパンパンに張った形のよいマゾイである。その後も粘るがアタリもなく、南風が強くなってきたので、幌内府トンネルに向かう。0:00

1 : 0 0 頃前方遠投でアブラコ 3 2 cm が釣れる。ヤリイカ釣りの真似事をする。3 : 0 0 より 5 : 0 0 まで休憩する。仮眠と思っていたが熟睡してしまった。車で休む前に 7 名ほどの家族連れが下り立ったが、好位置はキープしておいたので安心してしまったのだろう。1 6 : 3 0 頃の好時合いを逃してしまった。

釣り場に戻ると、家族連れがホッケを上げている。左前方にブッコミしておいたイカゴロネット仕掛けにホッケが付いていた。ウキ釣りをするが一人のコマセではホッケがなかなか寄らない。左側への潮の速い流れに乗せてやり、やっと釣れ出す。ホッケのアタリもなくなり、投げ竿に集中する。7 : 0 0 頃アブラコ 3 4 cm、2 時方向遠投でマガレイ。

1 0 時頃後片付けをし、帰途につく。古平を抜けたところにソーラン御殿、並んで鶴亀温泉があり、風呂に入ってから 2 階の休憩室で熟睡 (1 2 : 0 0 ~ 1 3 : 3 0)。海鮮丼はボリュームたっぷり。

ホッケ以外を全部刺身にする。アブラコもソイもハチガラもマガレイもとても旨い。